

令和6年度 社会福祉法人鷹山会 事業報告

法人本部

重点目標を掲げて運営。地域における公益的取り組みにある「おげんき会」を中心に、役職員が一丸となって地域課題の解決に取り組んだ。人材定着・育成制度を見直し、新たな人事制度「STEP UP SMILE」を完成、一般職を含め全員に周知を図り、実施に向け準備を進めた。災害対策においては「生活用水の確保」などの検討を図った。

理念の3本柱「地域と共に歩む福祉を目指す」「高齢者一人ひとりの尊厳と自立を大切にする」「悠々と和やかに暮らせる社会を実現」に沿って事業を展開した。

介護老人福祉施設 悠和園

家族面会やボランティア・慰問など積極的に受入、「悠和園まつり」などを実施し、家族と利用者が生き生きと暮らせるよう運営した。

悠和園短期入所生活介護

感染予防に努め安全に運営した。利用者数はコロナ以前に戻り、地域に根差した活動を順調に展開している。

悠和園デイサービスセンター

「認知症予防・フレイル予防」の意識が高まり利用者数が一定数増加。リハビリ機器を活用してのフレイル予防、また認知症予防ソフトを活用してサービス活動を実施。橐・国見・鷹巣（高須含む）の3地区高齢者が、いつまでも地元で暮らせるよう積極的に支援した。

悠和園介護相談センター

利用者数は昨年度とほぼ同数の利用者数で運営。介護支援専門員4名体制で運営を実施。利用者ニーズに対応できるよう努めた。鷹巣地区の地域活動への参加や、法人運営のおげんき会などにも参加した。

幸の家

YOUTUBEやInstagramなどのSNSによる広報活動を展開。居室面会や地域との交流活動を再開。高齢者が豊かな自然の中で、地元と繋がりながら生活できるよう運営した。

以上